



組織紹介
理念と組織図

事業紹介

就労移行支援事業 おおきなかぶ
いずみのもり保育園

あったか〜い
飲み物も用意して
お待ちしてるワン♪

活動と取り組み
生活困窮者自立支援金
OWLCCライブリテラシーセミナー

ワクワク

特集

年末△お福分け隊



理事長挨拶

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会

理事長

東盛 政行

地域社会に貢献する

労福協運動をめざして

長期化する新型コロナ禍の影響は、私たちの生活を一変させるとともに社会セーフティネットの脆弱さも露呈しました。特に沖縄県は有期やパートなど非正規雇用の労働者が約4割といわれ、県民所得が全国一の低さから生活に困窮する世帯も多く、「子どもの貧困」問題も大きな社会問題となっています。

沖縄県労福協は県や市町村からの委託を受けて生活や就労困難者への生活・就職等支援活動を行うとともに、自主事業として一般就労を希望する障がい者を就労につなぐ「おおきなかぶ」の運営と勤労者が安心して働き続けられる環境整備として「いずみのもり保育園」の運営も行なっています。

また、連合沖縄や沖縄県労働金庫、こくみん共済coop 沖縄推進本部との協働による子どもたちの夢と未来につなぐ「働く仲間のゆめ・みらい基金」運営事務局など、労働者自主福祉運動を取り組むことにより、共助の輪をつくり、支え合い・助け合う社会をめざして

「福祉はひとつ」

を、合言葉に労福協運動を進めていきます。
どうぞよろしくお願ひします。

理念

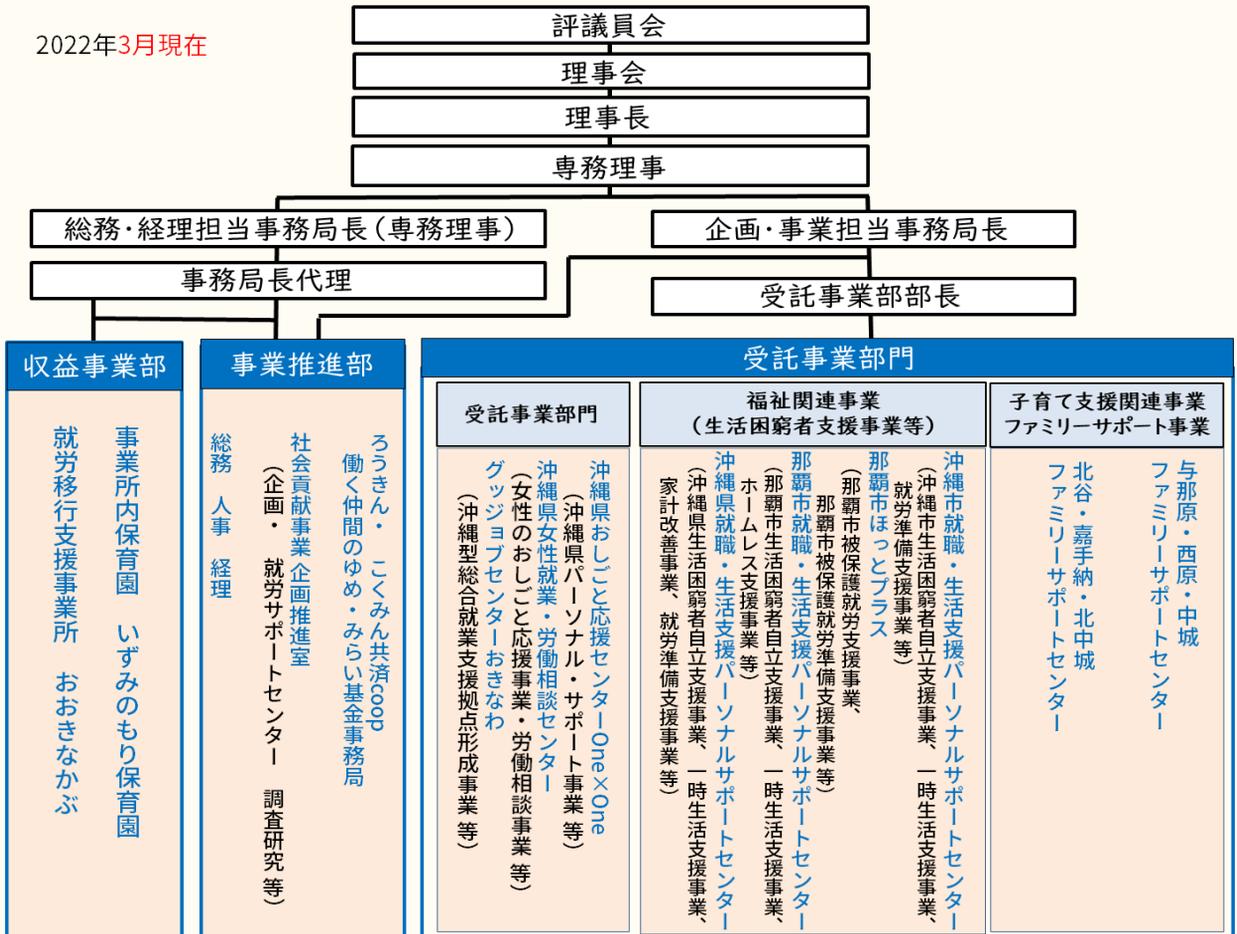
労働 働く人のために
労働の権利と義務の尊重

福 幸福を追い求めて
労働者福祉への邁進

協 力を合わせる
共同・連帯の実現

組織図

2022年3月現在





沖縄に暮らすたくさんの方が

笑顔で年末年始を過ごせるように

わくわく年末お福分け隊

2021年12月29日に那覇市、

沖縄市の2会場で『ワクワク年末お福分け隊』が開催されました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、新しい生活様式など社会変化に多くの方が戸惑いを感じていた2020年の第1回目の開催を経て、「今年も困っている人の笑顔の年末年始を届けたい」、「労福協として出来る事を恒例化したい」と、感じた一人ひとりの思いがカタチになり、中南部合わせて313世帯に食糧をお渡しする事が出来ました。

会場となり、来場者も笑顔と温かい気持ちでお帰り頂けたのではないかと感じています。開催にあたり、業務の合間での準備に大変な事もありましたが、多くの職員、またボランティアの皆さままで協力・協働した結果、無事に終了出来た事を心より感謝いたします。

また今回、GJC

ムやお菓子のつかみ取りコーナー、「おたがい様市」と称した子ども服洋品等の無償提供コーナーの設置、護佐丸太鼓演奏など、「誰かのために出来る何か」の職員アイデアをギョツと詰め込んだ

職員の与那覇雅子さんが実行委員長にチャレンジをしてみました。職員の「やってみたい」の思いがカタチになり、その想いと行動が社会課題解決の一步となるように今後も取り組んでいきます。



たくさんの人たちの協力と協働によって実現しました



『おたがい様市』の様子

開催前の最終打ち合わせ



グッジョブセンターおきなわ

ところで、グッジョブセンターおきなわ(略GJC)って、どんなところかご存知ですか？

「就職から生活までワンストップサービスで支援」…と、ありますが、仕事、生活、雇用、家族のこと、障がいのこと、人間関係のこと、お金のこと、支援機関からの相談…など、ありとあらゆる相談を寄せて頂いているセンターです。

来所頂いた方のお話を伺い、適した支援窓口や制度へのご案内をおこなうほか、研修室等の設備管理、施設内の補修や警備・コロナ感染等の安全管理、入居機関との調整、毎日開催のセミナー運営、県内全域の支援員向け研修会開催、企業支援など

みんなのサポーター



グッジョブセンターおきなわ公式キャラクター

ジョブたん

相談支援以外の職業スキルも高まるセンターとなっており、労福協が掲げている「困っている人を見てみぬ振りしない」「無いなら創ろう」「かすがい役になる」を日々体現しているセンターなのです。

センター内入居機関をはじめ、多くの支援機関や人と関わり、運営にご協力頂いている事も魅力のひとつで、お困り事、お悩み事を抱えている方々が安心して相談できるよう、各支援機関と連携をはかり、問題解決へのお手伝いをしています。

NEW!!
マスコットキャラクター紹介

きょうちゃん



PROFILE

肩書き

☆労福協のマスコットキャラクター

誕生日

☆11月26日

属性

☆イルカ

性格

☆仲間とコミュニケーション
をかわし、チームワークが良
く、人と関わるのが好き♡



YouTubeの
紹介動画も見てね♪
<https://youtu.be/SN0qm0LoUvQ>



沖縄県女性就業・労働相談センター

(略称OWLCC)

の取り組み

沖縄の若い世代が「社会で生きる力」を身につけるために



沖縄県女性就業・労働相談センターでは、県内の高校生や保護者を対象に、子どもたちが「社会生活に必要な知識や情報を持ち、それを活用する能力(ライフ・リテラシー)」を育てるために、ボードゲーム(すごろく)を用いながら労働法や健康保険・労災・給与明細の見方等、基本的な法律や制度を楽しく学ぶセミナーを開催しています。

ゲームの開発者である加藤氏は、沖縄の若年層の就業定着率の低さや貧困の常態化、また、非正規雇用の多さや親の経済力による教育機会の不均衡等、多層にわたる課題が山積していることから、若い世代が早い時期に社会で生きる力を身に付けてほしいという思いを伝えています。セミナーを実施した系満高校の生徒のアンケートでは、ライフ・リテラシーの必要性について「将来必ず役に立つので絶対にやった方がいい」という感想や、保護者の方からは「高校・学校の授業でぜひ取り入れてほしい」という声が寄せられています。今後も若い世代の皆さんが自立して社会の荒波に負けない力を身につけ、明るい未来に繋がるよう支援していきたいと思えます。

◆ HP : 沖縄県女性就業・労働相談センター

<http://owlcc.okinawa/confer/conferseminar/>



◆ Info : ライフ・リテラシー

<https://life-literacy.com/page-355.html>



生活困窮者自立支援金について

生活や仕事でお困りの方へ



新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対しては、これまで緊急小口資金等の特例貸付、住居確保給付金の対象拡大、自立支援機関の体制強化などによる支援を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に総合支援資金の再貸付が終了等の理由からこれ以上利用できない世帯で、一定の要件を満たす生活困窮者世帯を対象に、就労等による自立を図るために、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」(以下「自立支援金」という。)が支給されることになりました。

①支給対象世帯、②支給額・支給期間、③支給手続き等は市役所、町村の場合は近くの福祉事務所等の窓口にて確認ください。本支援金の受給期間が終了した世帯に対して、一定の条件を満たす場合に、一度に限り再支給が可能となり、再支給を含めた申請期限は令和4年3月31日までとなっています。支給審査、支給決定等の支給事務は、福祉事務所設置自治体にて行うこととされていますが、受付業務等の窓口業務や支給決定後の求職活動等の確認業務等は外部委託も可能となっており那覇市や沖縄市は沖縄県労福協にて委託を受け実施しています。

事業紹介



就労移行支援事業所

おおきなかぶ

～障がいのある人の働く想いをカタチに～

「就労移行支援事業 **おおきなかぶ**」は、利用者に合う職場や働き方を見つけるために、体調を整えながら基本的なビジネススキルやコミュニケーションスキルを中心にパソコン検定や就労体験、企業見学・講話などの働く上で必要な訓練を行っています。那覇バスターミナル、ゆいレール旭橋駅から徒歩1分と好立地な場所にあり、長年の支援経験をもとに段階的なステップアップのプログラムやキャリアコンサルタント・公認心理士など専門性の高いスタッフと相談しながら取り組んでいます。

また、主治医や職場との連携も行っていることから、長く働き続けられるよう就職活動のサポートや就職後の職場定着支援も行っています。

おおきなかぶ独自に開拓した企業先の就職実績があり、毎年多くの利用者が就労定着しています。

働く想いをカタチにをテーマに、就労移行支援事業所おおきなかぶでは必要とされる働き方を一緒に考え、

「働く幸せをつかむことができる力」をサポートしていきます。

あな
はん
はる
ん
ご
ん
ご
ん
ご
ん
ご
ん
ご
ん



毎月開催！出席褒賞制度

毎月多くの利用者の方が皆勤賞を受賞しています。毎日の訓練参加が働くチカラに変わります。



模擬会社でワークトレーニング！

おおきなかぶが「会社」に！働く前に知っておきたい上司や同僚とのコミュニケーションやビジネススキルに挑戦！



職業講話を開催！

おおきなかぶを卒業した先輩から講話会を実施。働く楽しさや本音を聞いちゃいまーす♪



模擬面接会！

面接本番には力を発揮できるよう、普段から面接練習に取り組んでいます。自己理解にも繋がっています。



いずみのもり保育園

いずみのもり保育園は、2016年に開園した、那覇市で初めてとなる認可の事業所内保育園のうちの一つ。利用できるのは保育園設置に関わる事業者の従業員の子もだけではなく、地域の特に待機児童が多い4ヶ月から2歳までを受け入れています。



開園から6年目。

保育理念「**自然**と触れ合える保育・**五感**が響きあう感性を大切にした保育」を保育の中に取り入れて子ども達を育てています。

この2年はコロナウイルス感染症の影響を受け、保育に様々な制限があり「新しい保育様式」と新用語まで生まれました。その中でも子ども達は元気いっぱい！晴れた日は園外活動。時には1, 2歳児は奥武山公園までお散歩。とても体力がついてきました。もちろん職員も同様です(^▽^)/



今後も、保護者が安心して子育てを両立できるように関係機関との連携を図りサポート体制を築いていきたいと思っています。

一人ひとりの発達と成長の芽を育む”根っこづくり”の場として基本的な生活習慣の自立の獲得、子ども同士や対大人との関係づくりを大切にしたいと考えています。

ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金

「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、県内の労働団体、働く仲間の力を結集し、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」、「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった想いがつまった基金（寄付金）です。

新型コロナウイルス感染症の影響などにおいて申請1件当たりの支給額の増加、ふたり親世帯（共働き）の申請も増加していることを踏まえ、今年度の年間予算および1件当たりの支援額も拡大しました。

また、本基金は給付だけでなく、申請者と支援機関の共同申請（サポート付きの給付）を組み合わせることで、「働くこと」や「安定した生活」子どもたちの『ゆめ・みらい』への1歩につながっています。

支援を受けた方の生活が安定し、「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となっていくます。

運営事務局として、皆様の想いのこもった本基金を大切に活用し、誰もが夢や希望を持ち、未来への可能性を広げられる社会となるよう取り組んでいきます。



ろうきん こくみん共済 coop
働く仲間のゆめ・みらい基金
～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～

【2021年度基金レポート】 <http://www.rofuku-okinawa.jp/yume-mirai.html>

“ろうきん運動”と“SDGs”

組合員のためのろうきん運動推進が“実は”SDGsの達成につながっています！

ろうきんは「ろうきんSDGs行動指針」を策定し、協同組織金融機関としての役割発揮とSDGsの達成に取り組んでいます。

ろうきんの取り組み（ろうきん運動の推進）

- 組合員（勤労者）の生活向上
- 金融アクセスの改善
- 社会的課題の解決

SDGsの達成!

詳しく知りたい方はこちらから
<https://all.rokin.or.jp/about/sdgs.html>

はたらくあなたのいちばんそばに。

ろうきんは世界から注目されています！

国際労働機関(ILO)は、世界でもユニークな日本の労働基準モデルについての分析・評価と数値からなるILOレポート2019を作成し、2019年3月に公表しました。

詳しく知りたい方はこちらから



「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ



お問合せはこちらから！



こくみん共済（全労済）

たすけあいの輪をむすぶ

あとがき

わたしたちの生活の中にもだいぶ浸透してきたSDGs。17の目標と呼ばれるカラフルなピクトグラムもよく見かけられるようになった今日この頃ですが、その17の目標を詳細化した【169のターゲット】というものがあります。『そんなこと知っている。』という声も聞こえてきそうですが、それらをさらに詳細化した【244のターゲット】というものがあるのをご存知でしょうか？

【169のターゲット】の中にも『～を大幅に減少させる。』といった漠然とした目標があるので、それらを具体的に数値化したものが【244のターゲット】と呼ばれています。

すべてを把握するのは困難ですが、自分が達成しようとしている目標が具体的にどんなものなのか？ 改めて確かめてみると新たな発見と視点があるかもしれません😊